

RD処分場は安定型処分場です。

廃止基準をクリアできるように、有害物質を除去して安全に扱うよう  
 廃止基準をクリアでき、跡地の利用ができるような対策を

最終処分場の廃止基準の概要

○ 最終処分場の廃止基準の概要

(一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める命令(総理府・厚生省令))

○適用、×適用無し

基準の内容	一 廃	産 廃		
		安 定	管 理	遮 断
1) 廃棄物最終処分場が囲い、立て札、調整池、浸出液処理設備を除き構造基準に適合していないと認められないこと。	○	×	○	×
2) 最終処分場の外に悪臭が発散しないように必要な措置が講じられていること。	○	○	○	○
3) 火災の発生を防止するために必要な措置が講じられていること。	○	○	○	○
4) ねずみが生息し、はえその他の害虫が発生しないように必要な措置が講じられていること。	○	○	○	○
5) 地下水等の水質検査の結果、次のいずれにも該当していないこと。ただし、水質の悪化が認められない場合においてはこの限りでない。 イ 現に地下水質が基準に適合していないこと ロ 検査結果の傾向に照らし、基準に適合しなくなるおそれがあること	○	○	○	○
6) 保有水等集排水設備により集められた保有水等の水質が、次に掲げる項目・頻度で2年以上にわたり行った水質検査の結果、排水基準等に適合していると認められること。 (1)排水基準等 6月に1回以上 (2)BOD,COD,SS 3月に1回以上	○	×	○	×
7) 埋立地からガスの発生がほとんど認められない、又はガスの発生量の増加が2年以上にわたり認められないこと。	○	○	○	×
8) 埋立地の内部が周辺の地中温度に比して異常な高温になっていないこと。	○	○	○	×
9) おおむね50cm以上の覆いにより開口部が閉鎖されていること。	○	○	○	×
10) 雨水が入らず、腐敗せず保有水が生じない廃棄物のみを埋め立てる処分場の覆いについては、沈下、亀裂その他の変形が認められないこと。	○	×	○	×
11) 現に生活環境保全上の支障が生じていないこと。	○	○	○	○
12) 地滑り、沈下防止工及び外周仕切設備が構造基準に適合していないと認められないこと。	×	×	×	○
13) 外周仕切設備と同等の効力を有する覆いにより閉鎖されていること。	×	×	×	○
14) 埋め立てられた廃棄物又は外周仕切設備について、環境庁長官及び厚生大臣の定める措置が講じられていること。	×	×	×	○
15) 地滑り、沈下防止工、雨水等排出設備について、構造基準に適合していないと認められないこと。	×	○	×	×
16) 浸透水の水質が次の要件を満たすこと。 ・地下水等検査項目:基準に適合 ・BOD:20mg/l以下	×	○	×	×

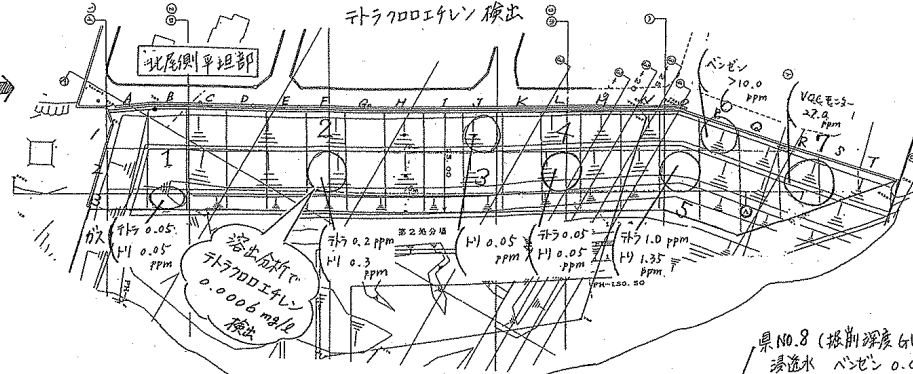
※ VOCモニタと検知管による調査

10mメッシュ調査用

※ JISB0209の検知管で、20mメッシュ(20x20)も対応として併せて調査する場合は、検知管30mメッシュ調査用。

No.	1 (非揮発)					2 (中央)					3 (内側)				
	VOC	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	VOC	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン	VOC	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	トリクロロエチレン	ベンゼン
A	0.2	0.0	0.0	0.0	0.20	0.1	0.0	0.0	0.0	0.12	1.4	0.0	0.0	0.0	15.30
B	0.4	0.0	0.0	0.0	0.34	0.2	0.0	0.0	0.0	0.37	0.6	0.05	0.05	0.0	18.20
C	1.1	0.0	0.0	0.0	0.49	0.6	0.0	0.0	0.0	0.60	7.2	0.0	0.0	0.0	18.18
D	0.1	0.0	0.0	0.0	0.09	0.4	0.0	0.0	0.0	0.45	0.0	0.0	0.0	0.0	15.12
E	0.0	0.0	0.0	0.0	0.10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.10	0.0	0.0	0.0	0.0	15.00
F	0.0	0.0	0.0	0.0	0.12	0.5	0.3	0.2	0.0	0.58	2.8	0.0	0.0	0.0	15.02
G	0.0	0.0	0.0	0.0	0.20	0.0	0.0	0.0	0.0	0.11	0.0	0.0	0.0	0.0	15.00
H	1.7	0.0	0.0	0.0	0.22	0.6	0.0	0.0	0.0	0.14	0.0	0.0	0.0	0.0	14.88
I	1.5	0.0	0.0	0.0	0.35	1.3	0.0	0.0	0.0	0.18	0.4	0.0	0.0	0.0	14.88
J	7.0	0.05	0.0	0.0	0.32	0.0	0.0	0.0	0.0	0.20	2.1	0.0	0.0	0.0	14.48
K	0.0	0.0	0.0	0.0	0.49	1.5	0.0	0.0	0.0	0.35	0.0	0.0	0.0	0.0	14.48
L	1.0	0.0	0.0	0.0	0.50	1.0	0.0	0.0	0.0	0.39	2.2	0.0	0.0	0.0	14.48
M	20.0	0.0	0.0	0.0	0.11	0.0	0.0	0.0	0.0	0.22	0.0	0.0	0.0	0.0	14.38
N	0.0	0.0	0.0	0.0	0.13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.15	0.4	0.0	0.0	0.0	14.32
O	0.0	0.0	0.0	0.0	0.14	4.0	1.30	1.0	0.0	0.20	0.0	0.0	0.0	0.0	14.28
P	100.0	0.0	0.0	0.0	0.10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.11	0.0	0.0	0.0	0.0	14.21
Q	0.1	0.0	0.0	0.0	0.17	0.1	0.0	0.0	0.0	0.20	0.0	0.0	0.0	0.0	14.18
R	0.0	0.0	0.0	0.0	0.10	27.0	0.0	0.0	0.0	0.24	1.2	0.0	0.0	0.0	14.11
S	0.0	0.0	0.0	0.0	0.10	1.0	0.0	0.0	0.0	0.24	0.0	0.0	0.0	0.0	14.09
T	0.0	0.0	0.0	0.0	0.10	2.2	0.0	0.0	0.0	0.20	0.0	0.0	0.0	0.0	14.00

※ 濃度の高い7地点で  
掘削調査を行う。→ 溶出分析で F-2において  
テトラクロロエチレン検出



今此の調査における VOC の検出状況

当産地①

ガス測定 (孔内を8層に合せて検知管で測定)

H16-1	測定深度	H1700	トリ
	GL-6.0~6.5m	0.3ppm	0.25ppm
	GL-9.0~9.5m	0.2ppm	0.15ppm
H16-2	GL-18.0~18.5m		0.05ppm
	検出された。		
H16-5	GL-9.0~9.5m	0.2ppm	0.1ppm
	GL-18.0~18.5	0.25ppm	0.25ppm
	GL-19.0~19.5	0.5ppm	0.3ppm

H15年11月

盛土区域表層ガス調査・重機による掘削調査

< 2次表層ガス調査 >  
O印は5mメッシュによる表層ガス詳細調査

●印は掘削調査箇所

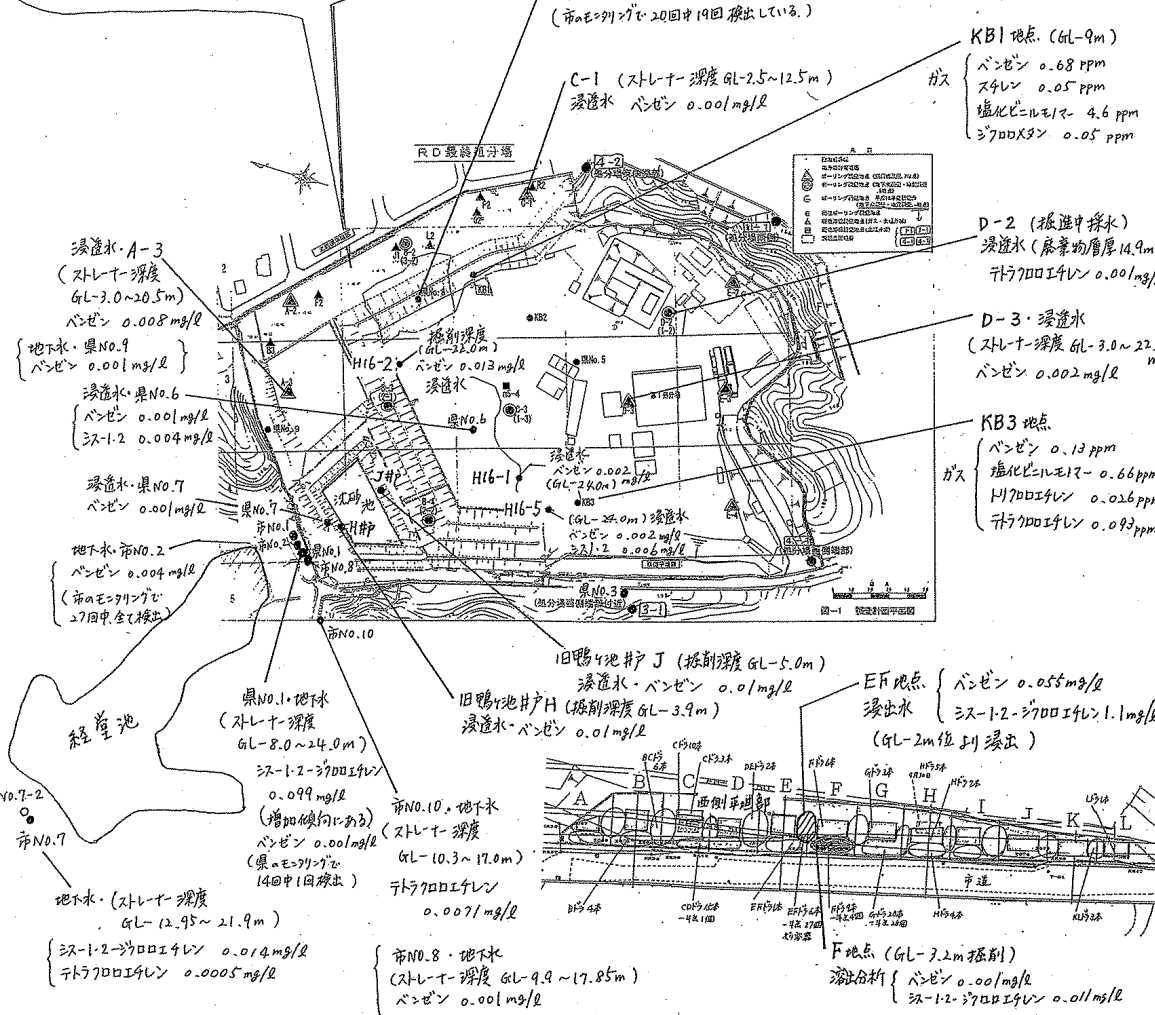
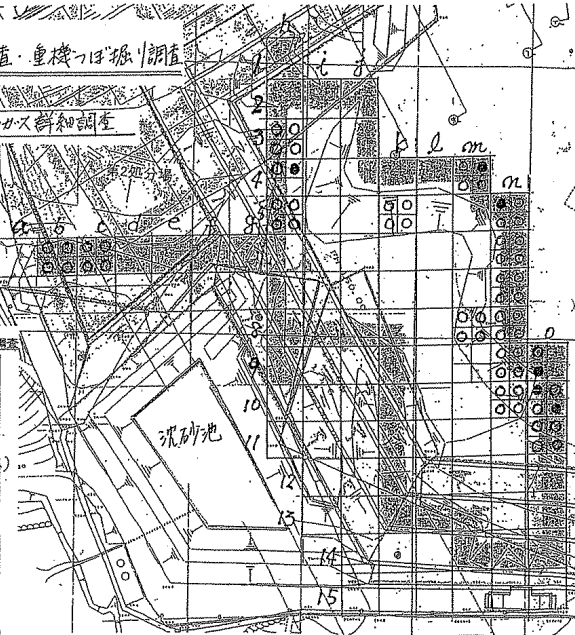
4	1
3	2

調査名: 盛土区域表層ガス検出サンプリング調査

メッシュ番号	深さ (m)	調査内容
m-4-1	4.8	(掘削物表面) VOC 0.0ppm (4.5m R中, R中0.3) VOC 0.0ppm
n-5-4	5.0	(掘削物表面ガス) VOC 0.0~0.4ppm (R中, R中0.3) (R中, R中0.3) (R中, R中0.3) VOC 0.0ppm
o-9-3	4.7	(R中, R中0.5m) VOC 0.5ppm (R中, R中0.5m) VOC 0.0ppm
o+10-4	3.8	(R中, R中0.0m) VOC 3.3ppm (R中, R中0.3m) VOC 4.4ppm トリ 0.6ppm トリ 4.0ppm
o-10-2	4.5	(R中, R中0.5m) VOC 0.0ppm (R中, R中0.5m) VOC 3.2ppm トリ 0.0ppm トリ 0.0ppm
h-4-1	4.0	(R中, R中0.5m) VOC 0.1ppm (R中, R中0.5m) VOC 3.3ppm トリ 0.0ppm トリ 0.0ppm

掘削基準 (掘削管理基準) < mg/L >

トリクロロエチレン	0.03
テトラクロロエチレン	0.01
ビス-1,2-ジクロロエチレン	0.04
ベンゼン	0.01



市No.3地下水 (ストレー深度 GL-18.9~24.4m) {ビス-1,2-ジクロロエチレン 0.006mg/L ベンゼン 0.001mg/L}

地下水・(ストレー深度 GL-12.95~21.9m) {ビス-1,2-ジクロロエチレン 0.014mg/L テトラクロロエチレン 0.0005mg/L}

市No.8地下水 (ストレー深度 GL-9.9~17.85m) {ベンゼン 0.001mg/L}

EF地点 {ベンゼン 0.055mg/L 浸透水 {ビス-1,2-ジクロロエチレン 1.1mg/L (GL-2m位に浸出)}

F地点 (GL-3.2m掘削) 溶出分析 {ベンゼン 0.001mg/L ビス-1,2-ジクロロエチレン 0.011mg/L}



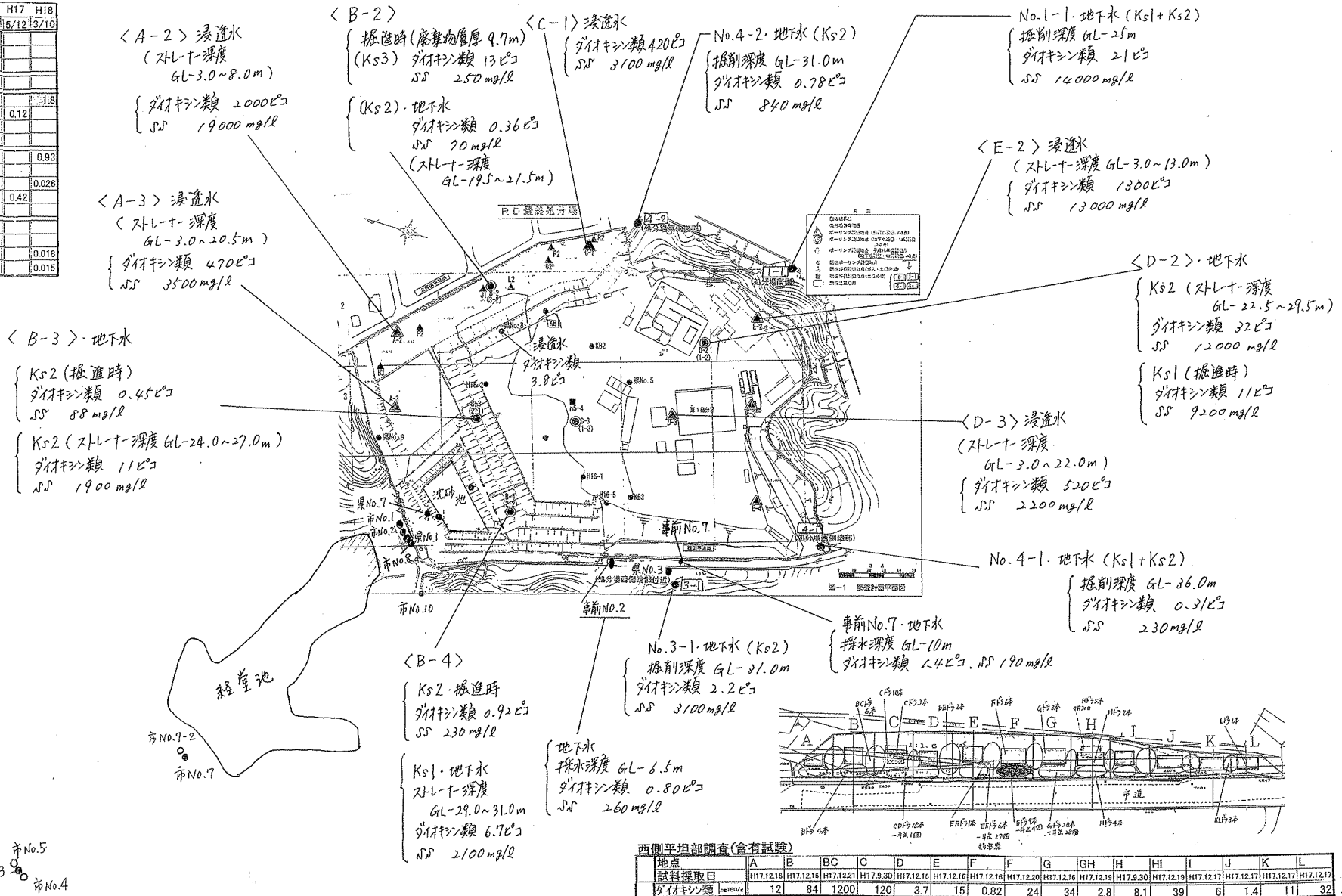
今までの調査におけるダイオキシン類の検出状況

<滋賀県実施分>

地域分類	帯水層区分	採水日 調査機関	H13				H14				H15				H16				H17				H18	
			2/23	3/5	3/7	3/8	3/12	3/18	9/22	12/24	3/12	6/29	9/24	12/24	3/4	6/24	9/29	12/27	3/7	3月未	7/6			
南東側	Ks1+Ks2	県No.4	0.14																					
		県No.2	0.099				1.0		0.11	0.29	0.30		0.20	0.14		0.18	0.17	0.059		0.032	0.081	0.12	0.050	
処分場内	廃棄物層	県No.5	0.27																					
		県No.6	0.37																					
		県No.7	0.37																					
		県No.8	3.8																					
南西側	Ks1+Ks2	県No.3	2.3																					
北西側上流	Ks2	県No.1	0.092																					
		県No.9	0.074				0.38		0.59	0.17		0.94	0.57		0.22	0.25	0.16	0.22	0.44	0.39		0.33		

<栗東市実施分>

帯水層区分	採水日 調査機関	栗東市	H13	H16	H17	H18
			6/25	5/13	5/12	3/10
Ks1+Ks2	県No.4 市No.6	県No.2		0.065		
			県No.2			
廃棄物層	県No.8					
Ks1+Ks2	県No.3 市No.9	市No.2			0.12	1.8
			市No.9			
Ks2	市前No.2 市前No.7	市前No.7				
			市前No.7			
沖積層	市No.2				0.93	
Ks2	県No.1 市No.8	市No.8				0.026
			市No.8			
Ks0	市No.10	市No.1	0.075		0.42	
			市No.1			
沖積層	市No.4					
Ks3	市No.5	市No.5	0.011			
			市No.5			
Ks2	市No.3	市No.3	0.020			0.018
			市No.3			0.015



西側平坦部調査(含有試験)

地点	A	B	BC	C	D	E	F	F	G	GH	H	HI	I	J	K	L
試料採取日	H17.12.16	H17.12.16	H17.12.21	H17.9.30	H17.12.16	H17.12.16	H17.12.16	H17.12.20	H17.12.16	H17.12.16	H17.9.30	H17.12.19	H17.12.17	H17.12.17	H17.12.17	H17.12.17
ダイオキシン類	12	84	1200	120	3.7	15	0.82	24	34	2.8	8.1	39	6	1.4	11	32

表-3: 粟東町no.4井戸地下水連続観測まとめ

表3-1: 水位計読取り値		表3-2: 水位計設置諸元			
ファーストチャンネル	1	井戸孔口標高(m)	119.330		
ラストチャンネル	1	水位計設置時初期水位 GL-(m)	0.250		
測定間隔 (時間)	1:00	水位計設置深度GL-(m)	3.000		
測定開始日時	2001.6.22 15:00	表3-3: 期間内の降雨量と水位の変動			
測定最終日時	2001.8.31 23:00				
測定回数 (回)	1687			期間内 水位変動 (m)	最大値 119.394
総チャンネル数	1			最小値 116.332	水位差 3.062
センサ名	水位計			期間内 降水量 (mm)	最大値 28.000
測定モード	ひずみ	積算	287.000		
初期値	87	平均	5.218		
校正係数	0.00207				

表-7: 滋賀県no.4井戸地下水連続観測まとめ

表7-1: 水位計読取り値		表7-2: 水位計設置諸元			
ファーストチャン	1	井戸孔口標高(m)	150.535		
ラストチャンネル	1	水位計設置時初期水位 GL-(m)	22.085		
測定間隔 (時間)	1:00	水位計設置深度GL-(m)	27.000		
測定開始日時	2001.6.22 15:00	表7-3: 期間内の降雨量と水位の変動			
測定最終日時	2001.8.31 23:00				
測定回数 (回)	1687			期間内 水位変動 (m)	最大値 128.381
総チャンネル数	1			最小値 122.926	水位差 5.454
センサ名	水位計			期間内 降水量 (mm)	最大値 28.000
測定モード	ひずみ	積算	287.000		
初期値	153	平均	5.218		
校正係数	0.00207				

表-4: 滋賀県no.1井戸地下水連続観測まとめ

表4-1: 水位計読取り値		表4-2: 水位計設置諸元			
ファーストチャンネル	1	井戸孔口標高(m)	129.068		
ラストチャンネル	1	水位計設置時初期水位 GL-(m)	8.580		
測定間隔 (時間)	1:00	水位計設置深度GL-(m)	7.000		
測定開始日時	2001.6.22 15:00	表4-3: 期間内の降雨量と水位の変動			
測定最終日時	2001.8.31 23:00				
測定回数 (回)	1687			期間内 水位変動 GL-(m)	最大値 127.490
総チャンネル数	1			最小値 122.217	水位差 5.274
センサ名	水位計			期間内 降水量 (mm)	最大値 28.000
測定モード	ひずみ	積算	287.000		
初期値	-88	平均	5.218		
校正係数	0.00219				

表-8: 滋賀県no.8井戸地下水連続観測まとめ

表8-1: 水位計読取り値		表8-2: 水位計設置諸元			
ファーストチャン	1	井戸孔口標高(m)	149.253		
ラストチャンネル	1	水位計設置時初期水位 GL-(m)	12.540		
測定間隔 (時間)	1:00	水位計設置深度GL-(m)	18.000		
測定開始日時	2001.6.22 15:00	表8-3: 期間内の降雨量と水位の変動			
測定最終日時	2001.8.31 23:00				
測定回数 (回)	1686			期間内 水位変動 (m)	最大値 136.285
総チャンネル数	1			最小値 131.025	水位差 5.260
センサ名	水位計			期間内 降水量 (mm)	最大値 28.000
測定モード	ひずみ	積算	287.000		
初期値	97	平均	5.218		
校正係数	0.002				

付図-8: 降水量と地下水の関係 (滋賀県no.8井戸)

